

# 東北応援団 白金支部 活動レポート

2019.8.24~2019.8.25

(東京都港区 麻布十番商店街夏祭り)



令和元年10月27日(日)

東北応援団 白金支部

## 女川町 支援活動レポート

東日本大震災により、亡くなられた方のご冥福を、心からお祈り申し上げます。  
また、被災された地域の完全なる復興と、更なるご発展を心からお祈り申し上げます。

### 1. はじめに

8月上旬、女川町では今年も女川常夜灯「迎え火」の催しが行われました。毎年復興状況に合わせて会場を変えながら開催されています。先祖や東日本大震災の犠牲者の魂が弔われました。そして8月の終わり、女川町から「マルキチ阿部商店」の阿部淳さん、「Cafe & Bar OWL」の高橋圭介さんを迎え、東北応援団 白金支部は東京の夏まつりの中でもっとも集客のある「麻布十番商店街夏祭り」に女川町のブースを出店させていただきました。

女川町観光協会さん、「マルキチ阿部商店」さんの阿部淳さんのご協力により、今年も無事にこのお祭りに出店することができましたこと、この場を借りてお礼申し上げます。  
以下、お祭りのご報告をさせていただきます。

### 2. 活動報告

#### (1) 概要

麻布十番商店街夏まつり

(日 時) 2019年8月 24日(土) 15:00~21:00

2019年8月 25日(日) 15:00~21:00

(会 場) 港区麻布十番

#### (2) 出店の構成

- ◆「マルキチ阿部商店」 えびポテト
- ◆「Cafe & Bar OWL」 ほやしそば
- ◆女川ホップペール・アサヒスーパードライ

#### (3) 活動レポート

##### 8月23日(金) 前日準備

今回も白金支部の地元、白金の橋本様のご厚意で、建物の1階をお借りして準備を進めました。夕方には女川町からの車も到着し、食材をお預かりして冷蔵庫保管します。幾分か暑さは和らいできていましたが、日中はまだまだ暑さが厳しいため、冷凍庫ではペットボトルを凍らせました。

##### 8月24日(土)麻布十番商店街夏祭り 1日目

麻布十番商店街が通行止めになり、設営開始となるのは午後2時です。先発隊は12時には会場に向かい、ブースを設営させていただき道路が汚れないよう、防火シートを貼ります。その他のスタッフは橋本家1階で会場に運び込む荷物を車に積み込みを行いました。

午後1時半、スタッフ全員が会場に到着、2時の設営開始に向けて運び込んだ荷物の整理、水汲み、足りない備品の購入などを行いました。今年もお隣のブースは秋田県の地ビールのお店です。一年ぶりの再会のご挨拶をさせていただきました。

午後2時になりました。ターフを立て、女川町の幟をターフの高い位置に括り付けます。女川町駅前のプロムナードにある「ガル屋」さんで親しまれている「女川ホップペール」を美味しく提供するには温度管理が大切です。ビール樽は氷を詰めたクーラーボックスで良く冷やしておきました。

「マルキチ阿部商店」さんの「えびポテト」の準備も終わり、試しに揚げたポテトをスタッフで試食させていただきました。もちもちがあがったポテトはえびと青のりが香ばしく、ビールがススムお味になっています。「Cafe & Bar OWL」さんのほやしそばも、熱せられた鉄板の上で焼き始めます。

午後3時、販売開始です。早速、昨年も「えびポテト」を買って美味しかった！という親子連れが来てくださいました。紙皿からはみ出す長さの「えびポテト」は、会場でも目を惹くようで、さっき持って歩いていた人がいて美味しそうだったので、購入してくださる方もいらっしゃいました。すぐに揚げ待ちのお客さまでブース前は賑わいました。お待ちのお客さまには「女川ホップペールビール」をお勧めしました。

「ほやしそば」は日が暮れたころから売れ行きが伸びていきます。ホヤってなに？というお客さまには、女川町観光協会さんからわけていただいた「ほや本」でほやの説明をしました。ほやは貝でもなく、魚でもない、ほやという種類の生き物です。臭みがあって苦手だなという方もいらっしゃいますが、とれたてのホやはまったく臭みがなく、黄色い肉厚の身は少し甘味があってまさに海のバイナブル！です。「ほやしそば」は、肉厚なほやの身に、ほやのだし汁とガーリックをたっぷり効かせた塩焼きそばです。

お祭りピークの時間となる7時すぎには「えびポテト」は完売、「ほやしそば」も8時には完売となりました。



一日目にほやしそばを最後に御購入いただいたカップルの方とスタッフの記念撮影



たくさんの方がえびポテトに並んでくださいました

## 8月25日(日)麻布十番商店街夏祭り 2日目

前日同様、早い時間から「えびポテト」は大人気でたくさんの方々が並んで買い求めくださいました。ブースに来てくださる方々には、女川町観光協会さんからお預かりしている「さんまの付箋紙」もお勧めしました。さんまのイラストがかわいい付箋紙で、女性やお子さん連れが気に入って買ってくださいました。

前日より人も多く、女川町のブースの前もたくさんの方々が行きかいます。ブース前に立つスタッフは「宮城県女川町のブースはこちらです!」、「えびを練りこんで揚げたロングなポテトフライ、えびポテトはいかがですか?」、「新鮮なホヤをつかったほやの塩焼きそば、ほやきそば!美味しいですよ!」と、呼び込みをおこないました。

「えびポテト」は早々に完売、「ほやきそば」もガーリックの匂いにつられて集まる方々に、この日もほやの説明をしながら”ほや本”をお配りし、ホヤが苦手だという方にはガーリック炒めのホヤを試食していただきました。「全然臭みがない!」と驚かれ、購入いただく方がいらっやたことがとてもうれしく思いました。

2日目は20時をまわる頃にすべて完売し、撤収となりました。

以上をもちまして、この度の活動の報告とさせていただきます。

## 3. 活動を終えて

8月3日(土)、4日(日)に出店させていただきました。港区白金の「四の橋夏まつり」に続いて、今回ご報告させていただきました「麻布十番商店街夏祭り」も皆様のご協力により無事に終了いたしました。10月6日(土)、7日(日)月上旬に東京都港区増上寺一帯で開催予定でした「みなと区民まつり」は、台風19号の影響により残念ながら中止となった為、以上をもちまして本年度の東北応援団 白金支部の催事出店は終了となりました。

港区白金の「四の橋夏まつり」の収益金の一部は、「女川向学館」にご寄付をさせていただきましたこと、ご報告申し上げます。

微力ではありますが、催事出店が少しでも女川町のPRの力になりますよう、たくさんの方々の一人でも多くの方々に宮城県女川町の名前を憶えていただくよう、これからも工夫を凝らして東京のお祭りで女川町を紹介する活動をさせていただきたく思います。皆様のご協力に感謝しつつ、引き続きのご協力をお願い申し上げます。

## 5. 補足事項

### (1) 参加者(敬称略/順不同)

三上 加寿子	瓜田 創	蜜口 真人	後藤 奈津子
末石 義史	平井 智子	坂本 緑	谷中 保大
阿部 凜太郎	菅野 励盛度	若月 ほづみ	藤原 朗
工藤 史大			

### (2) 後方支援者(敬称略/順不同)

(故)橋本 翔二	橋本 直	橋本 涉	石川 重美
小澤 雅志	加藤 豊		

### (3) 支援物資提供(敬称略/順不同)

大門ホルモン焼 夏冬

### (5) 協力(敬称略/順不同)

女川町観光協会

### (9) 主催元

港区 麻布十番商店街振興会

弊会の活動は、皆様のご理解、ご協力のうえで、成り立っております。

本当にありがとうございました。

私たちは、これからも女川町を継続して応援させていただきます。今後とも、どうぞ宜しくお願いいたします。

※このレポート内にあります画像の流用及び転用は、一切禁止します。

Copyright (C) 2012 Tohoku-Ouendan All Rights Reserved.

★東北応援団 白金支部 WEBサイト★

<http://www.onagawa.e-ouen.jp>



令和元年10月27日  
東北応援団 白金支部  
工藤 史大